

第2回

# 勝福寺 寶燈展

林鶴山さん木工芸の美し再び

平成23年

4月23日 土

観覧無料

午前9時30分▼午後4時30分

アンコール



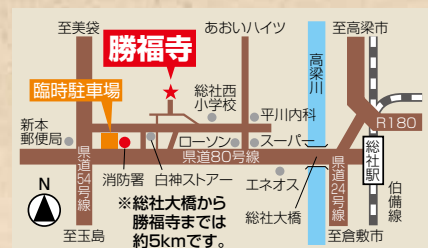
榿拭漆八角喰籠 平成12年  
第47回 日本伝統工芸展入選作品



榿拭漆盛器 平成22年

当日、お茶席の併設を予定しております。一席 300円  
お茶席開催時間 午前10時▶午後3時まで

お寺の駐車場が満車の場合、総社市消防署「西出張所」西側の駐車場を臨時駐車場としてお借りする予定です。そこから勝福寺までは徒歩で約10分(500m)の距離です。  
臨時駐車場 総社市消防署西出張所 総社市久代2635-1 Tel.0866-96-1196



伝統を今に生かし、時代の一步先へ

宗教法人 真言宗 御室派



## 徹林山 勝福寺

〒710-1201 岡山県総社市久代3438 ■ TEL 0866-96-0615

主催 徹林山勝福寺  
会場 勝福寺(岡山県総社市久代三四三八)  
お問い合わせ 〇八六六-九六-〇六一五  
URL <http://www.geocities.jp/gikooh/index.html>

画 林鶴山氏 「山桜の図」



岡山県重要無形文化財  
日本工芸会正会員

林 鶴山さん

昭和二年七月二十九日生  
倉敷市出身



職歴

昭和十七年 木工作家増田青泉堂に入門  
昭和四十七年 第十九回 日本伝統工芸展初入選  
昭和五十年 日本伝統工芸会正会員  
昭和五十一年 日本伝統工芸展 東中国支部奨励賞受賞  
昭和五十三年 日本伝統工芸展 東中国支部展審査員  
昭和五十四年 県展山陽新聞社賞受賞  
昭和五十八年 岡山県優秀技能者賞受賞  
昭和五十九年 高松宮 献上  
昭和六十年 労働大臣賞受賞(現代の名工)

一五歳  
四五歳  
四八歳  
四九歳  
五一歳  
五二歳  
五六歳  
五七歳  
五八歳

平成四年 第五回木竹展 工芸会長賞受賞 六五歳  
平成五年 倉敷市文化連盟賞受賞 六六歳  
平成六年 第六回木竹展 東京都教育委員会賞受賞 六七歳  
平成七年 岡山県重要無形文化財認定 六八歳  
平成十年 木の心秀作展(三越倉敷店) 七十一歳  
平成十一年 山陽新聞文化功労章受賞 七十二歳  
紺綬褒章受賞  
倉敷市文化章受賞  
三木記念賞受賞  
平成十三年 岡山県日新聞社文化功労章受賞 七四歳  
平成十四年 黄綬褒章受賞 七五歳  
平成十五年 生誕八十年回顧展 倉敷市立美術館 七六歳  
平成二十年 高野山金剛峯寺奉納 八一歳  
平成二十一年 紺綬褒章受賞 八二歳  
平成二十二年 第五十七回日本伝統工芸展入選(三十五回) 八三歳  
現在に到る

雪景の怡然庵(勝福寺)



お茶室(勝福寺)

東北地方太平洋沖地震について

先般三月十一日、三陸沖を震源とした東北地方太平洋沖地震の発生につきましては、時間を追うごとに被害の甚大さが明らかとなり、とても心が痛まります。皆様のご家族やご親類で、関東から東北地方にお住いの方はご無事でしたでしょうか。突如として犠牲になられた非常に多くの生命の鎮魂を祈ると共に、被災に合われた方々が一日でも早くお元気になれますようお願いしております。勝福寺では、このたびの寶燈展で皆様より頂戴致しますお茶席代は、災害支援金として全額寄付させて頂く予定です。

勝福寺における今後の文化行事(予定)

■ 第二回 寶燈展

会期は未定ですが、次回はいけ花の美、または「香の世界」を紹介させて頂く予定です。

■ 怡然茶話会(予約制)

本年十月頃より、毎月五名様の茶話会を開催予定です。これは「茶・花・香」全般の伝統美を楽しく頂ければと思います。具体的な内容が決まり次第、ホームページにて掲載します。

第二回 勝福寺寶燈展のご案内

〜 林鶴山さん木工芸の美〜再び

日本には古来から継承される様々な伝統美の世界があります。勝福寺の寶燈展は、その中から「茶・花・香」の伝統文化に触れ、それに関連する道具類を展示致します。この空間に身を置かれ、ご観覧頂くことにより、美意識が高まり、心の浄化と活性に繋がることを願っています。

昨春の第一回寶燈展は木工芸家、林鶴山さんの作品展覧会を開催しましたところ、予想を上回る多数のご来山を頂き大変に有難く思っている次第です。皆様方からお寄せ頂いたお声を受けて、第二回は今一度、昨年同様の展覧会を開催する運びとなりました。

昨今は周囲の環境や人も美に多様化しています。豊かな物質に恵まれる一方で、社会全体の構造が徐々に不安定化し、人間としての心のありようも問われ続けるようになりました。般若心経の二説に「波羅蜜多」という人が幸せになる為の六つの方法が説かれています。

その第五番目は「禪定」といって心鎮めることをいいます。また、弘法大師も般若心経秘鍵に「禪那(禪定)」と正思惟(正しい思い)のみあつて」と著され、静寂な心を持つことは日常生活において正しい思いを養わせ、各場面の行動として活かされると示唆しています。

私は林鶴山さんと三十年以上に及ぶご親交を頂く中で、情感深いお人柄、影の線を追及されて生み出し続ける秀作の数々、木工芸家として、茶人として、文化人としての見識の広さ等々、その豊かな感性は特筆すべきものがあります。

勝福寺では平素から部屋に草木を分け、香を焚き、火鉢で湯を沸かしてお茶を戴く時間を大切にしています。それらの所作は林さんから影響を受けたことです。花が一輪あるだけでも自然の姿から何かを感じさせられることは多くあり、更に禪那と正思惟の精神修養にも大きく役立つています。

本展にご来山頂いた皆様方には俗世を離れた静寂な空間で作品をご観覧頂き、是非、いづくのお茶を戴いてみてください。その空間で感じになられたことが実生活を豊かにする心の一助となれば、住職として非常に嬉しく存じます。

最後に、寶燈展の開催にあたり、林鶴山様をはじめご協力を賜りました勝福寺檀信徒並びに関係者各位に深く御礼申し上げます。

平成二十三年春

徹林山 勝福寺  
住職 江原 義空